

「無罪勝ち取りたい」

高裁が再審決定 上脇元神戸市議

風俗店の財産隠しを指南したとして国税徴収法違反の有罪が確定した判決について、大阪高裁が再審開始を認めた上脇義生・元神戸市議(66)が大阪高検が特別抗告が15日、神戸市中央区で会見した。上脇氏は「再審をようやく勝ち取ることができた」と笑顔を見せた一方、特別抗告に

ついては「予想していたが、本当はすっきりしなかった。最後まで戦って、(今度は)無罪を勝ち取りたい」と語った。

上脇氏の再審請求審では、共謀者とされた知人で風俗店の元実質経営者が「指南を受けたのは上脇氏ではなかった」と、証言を覆して上脇氏の関与を否

定。抗告審で大阪高裁が7日に再審開始を認めたが、大阪高検が13

日に最高裁に特別抗告を申し立てた。

会見に同席した弁護団によると、再審開始の判断は▽共犯者の証言だけで決定▽検察が捜査した事件で決まった、という2点で画期的という。

上脇氏は会見で、神戸地検の逮捕後の取り調べで「検察が逮捕したのだから勝てない。観念しろ」「衆院選が近いが、調書にサインしなければ長引き、当時所属した」党のダメーシは大きい」など

と言われたと明らかにした。そのため調書の一部にサインし、市議も辞職したという。「もう議員には戻れない。経済的、精神的にも辛かった」と語った。

大阪高検は特別抗告

で、決定に判例違反があるなどと主張するとみられるが、上脇氏側はまだ内容を把握していないという。弁護団は検察側の主張を確認した上で、最高裁に意見書を提出する方針。

【神足俊輔】



大阪高裁の再審開始決定を受け、会見する上脇義生・元神戸市議 神戸市中央区で